

◆ 実験概要

波高 20cm, 初期水位 35cm, 初期桁中心位置 Z が 10cm (桁下から初期水面までの高さ 8.3cm)

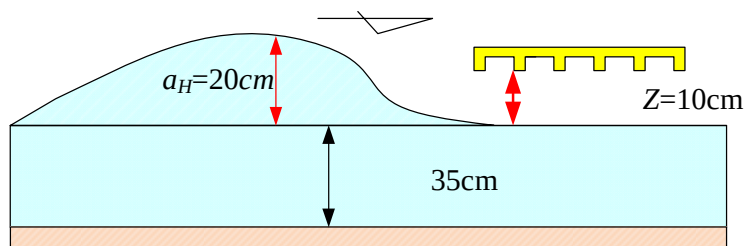


Fig. 1 桁模型設置状況

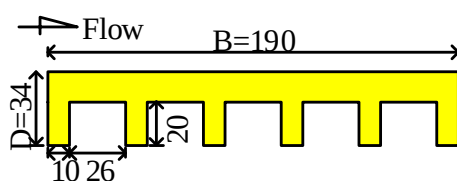


Fig. 2 桁模型

実験は Table 1 に示す 3 パターンの圧力計測および流速計測を行った。

Table 1 計測項目

項目	水位	作用力	圧力	流速
パターン 1	H1～H6	Fx, Fz	水平 P1～P5, P11～P15	V1～V3
パターン 2			水平 P6～P10, P16～P20	V1, V4, V5
パターン 3			鉛直 P21～P33	V1, V6

水路全体図を Fig. 3 に示す。使用した水路、水位計、作用力を計測したロードセルの位置は、実験 3 パターンとも同一である。

各水位計の設置断面図を Fig. 4 に示す. H1～H5 は水路の中央に, H6 はアクリル板で模型と区切られた位置に設置されている. 作用力を計測したロードセルも Fig. 4 の[6]に記載されている.

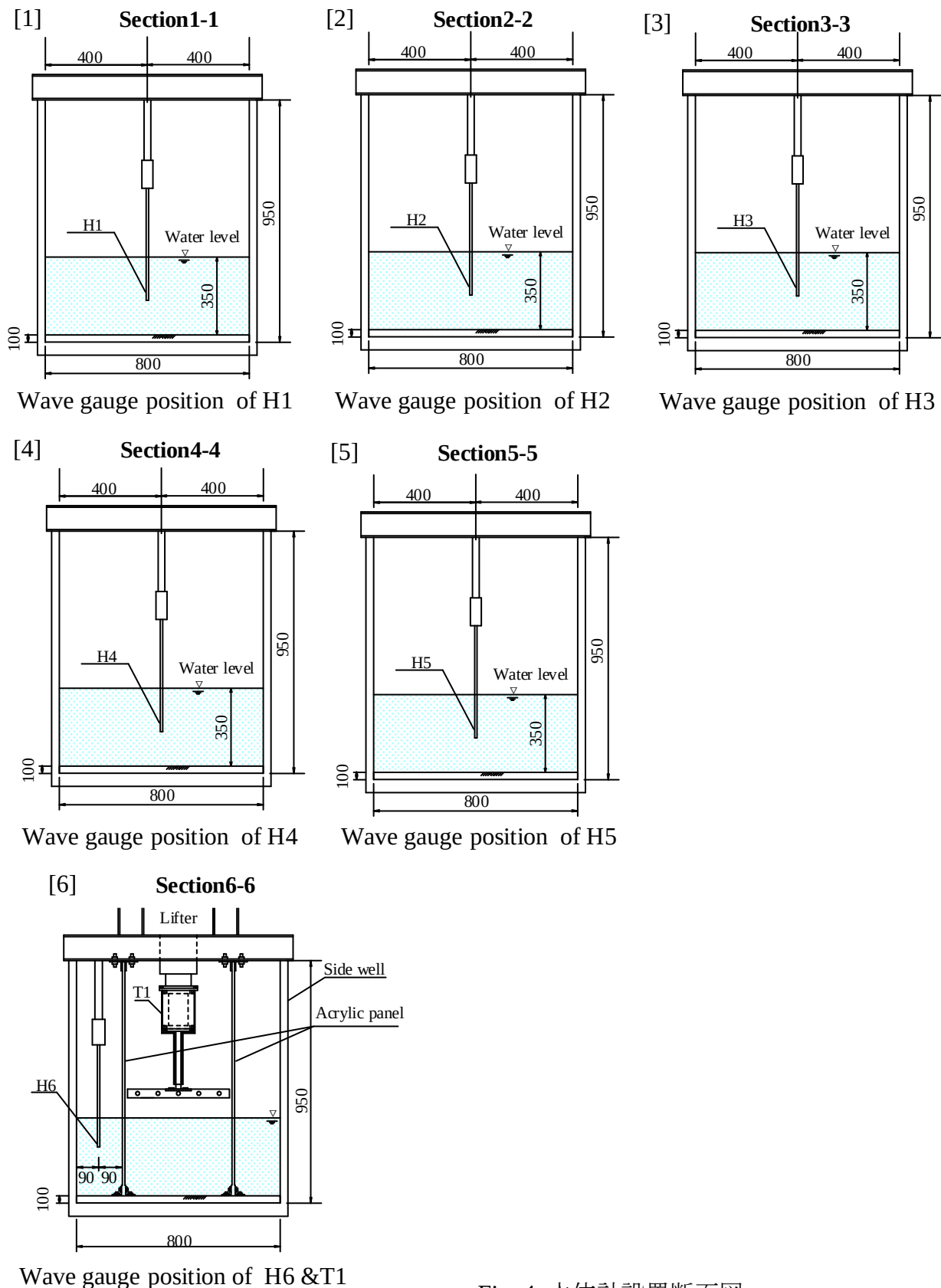


Fig. 4 水位計設置断面図

[illegible]

Section6-6

Lifter Fixed beam

Acrylic panel

Side well

Acrylic panel

V1

V6

z=5cm

800

950

100

Water level position of V1&V6

Section7-7

V2

800

950

100

Position of V2

Section8-8

V3

800

950

100

Position of V3

- 4 -

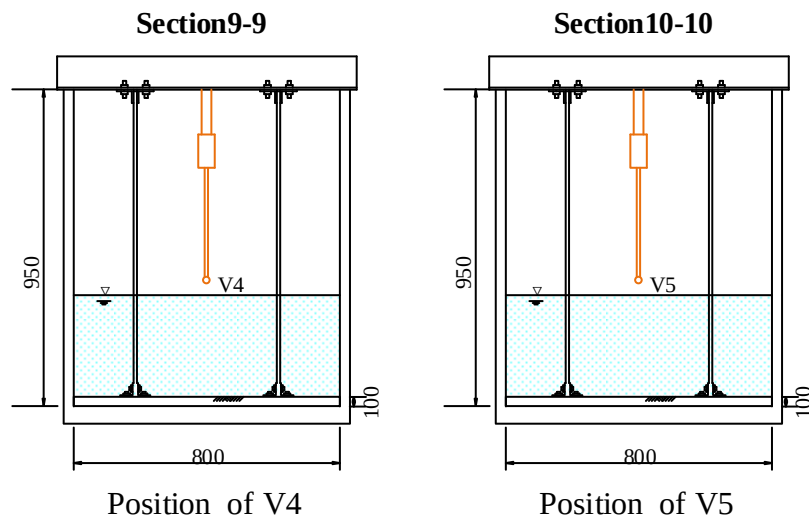


Fig. 6 流速計の設置断面（つづき）

圧力計の設置位置を Fig. 7 に示す． 3 パターンによって計測した圧力位置が異なっている． パターン 1 では P1～P5 と P11～P15 の水平 10 箇所， パターン 2 では P6～P10 と P16～P20 の水平 10 箇所， パターン 3 では P21～P33 の鉛直 13 箇所で計測した．

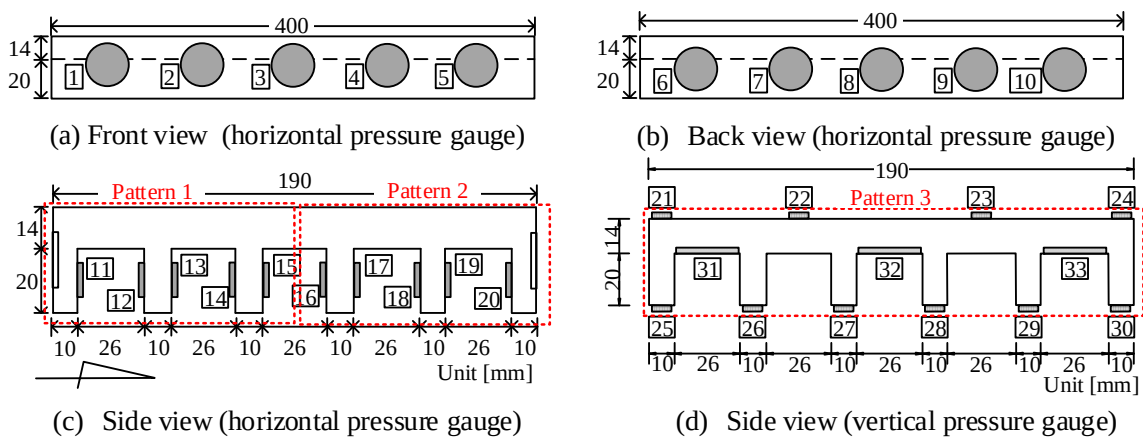


Fig. 7 圧力計の設置位置